



**宇崎竜童 50th Anniversary
弾き語りLIVE 2024
JUST GUITAR
JUST VOCAL**

2024.6.30(日) 17:00開演(16:30開場)
響きホール【全席指定】

ダウン・タウン・ブギウギ・バンドでの鮮
烈なデビューから50年のアニバーサリー
ヤー。「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」
「スモーキン'ブギ」など数々のヒット曲を
生み出した宇崎竜童が、ギターの弾き語
りと自信の歌声だけで魅せる大人のため
のステージ。

【前売】一般 6,500円
ゆめプラメイト 6,000円
U25(25歳以下) 2,000円
【当日】一般・ゆめプラメイト 7,000円
U25(25歳以下) 2,500円
チケットぴあ[Pコード 258-038]



**DRUM TAO
ードラム タオー
武豊公演**

2024.10.27(日) 16:00開演(15:30開場)
響きホール【全席指定】

世界観客動員数1000万人に迫る!日本
が誇る世界が認めた和太鼓アーティスト
集団。NYオフ・ブロードウェイでは全公
演SOLD OUTになるほど世界での評価
も高く、Newsweek誌が「TAOは世界へ
日本を売り込む『顔』になる」と絶賛。

【前売】一般 6,500円
ゆめプラメイト 6,000円
★前売限定団体割
一般チケット6枚以上同時購入で
1枚 6,000円
【当日】一般・ゆめプラメイト 7,000円
チケットぴあ[Pコード 258-037]



**オペラシアター
こんにやく座公演
オペラ「森は生きている」**

2024.12.15(日) 14:00開演(13:30開場)
響きホール【全席指定】

♪もえるもえるあざやかに
月たちが歌う焚き火のぬくもりのなかで
(むすめ)はなにをもらったか?
女王はなにを学んだか?
1992年の初演以来、毎年上演を重ねて
いるオペラ『森は生きている』。ロシアの
森を舞台に一月から十二月までの(月の
精)たちと人間たちが織りなす物語を12
人の歌い手とピアニストによってお贈りし
ます。

【前売】一般 3,500円
ゆめプラメイト 3,000円
高校生以下 2,000円
【当日】一般・ゆめプラメイト 4,000円
高校生以下 2,500円
チケットぴあ[Pコード 523-451]

※「新春福袋セット」「サロン6公演セット」「Aセット」「Bセット」は1会員いずれか1セットのみの購入制限があります。※「新春福袋セット」は50セットのみの限定販売です。※ゆめプラメイトチケットは、各公演1
会員2枚までの購入制限があります。(セットチケット含む)(ヤングメイトは本人分1枚のみ) ※ゆめプラメイトチケットおよびセットチケット購入時は、会員証の提示をお願いします。※高校生以下またはU25チ
ケットでご入場のお客様は入場時身分証明書をご提示いただく場合がございます。※車椅子席をご利用の方は事前にご予約ください。※「宇崎」「TAO」「サロン6公演」は未就学児の入場はご遠慮くださ
い。※電話による購入は発売日の翌日からゆめたらうプラザまで(代金引換郵便の申込みは各公演2週間前まで) ※「サロンコンサート」全公演の一般チケットは2024.1.27(土)発売(ゆめたらうプラザ・チケ
ットぴあ) ※「宇崎」「TAO」「森は生きている」一般チケットは2024.2.3(土)発売(ゆめたらうプラザ・チケットぴあ)

**2024.
7.6(土)**
響きホール

Play Music!
多彩な音を紡ぎ出す

Pコード 258-045

出演：山中惇史/ピアノ、作曲・編曲
圧倒的なテクニックを持ち、日本を代表するコ
ンポーザー・ピアニストとして強い存在感を示
す山中惇史。美しい音色と超越した創造性、
才能と音楽愛にあふれた山中のピアノは、す
べての人を幸せにする。



©Takafumi Ueno

**2024.
11.16(土)**
響きホール

**まだ見ぬ音の世界へ
クラシックと
民族音楽のクロスオーバー**

Pコード 258-046

出演：新倉瞳/チェロ、渡辺庸介/ドラム
チェリスト新倉瞳と、パーカショニスト渡辺庸介
による、クラシックと民族音楽のクロスオーバー。
哀愁や激情と言った様々な感情を織り交ぜ、こ
のデュオにしか生み出せない新たな音楽の形
を目指す。



**2024.
12.8(日)**
響きホール

**天陽を仰ぎて
飽くなき音楽への
探究と調和**

Pコード 258-047

出演：《葵トリオ》小川響子/ヴァイオリン
伊東裕/チェロ、秋元孝介/ピアノ

2018年に最難関と言われるミュンヘン国際音楽
コンクールで優勝。世界のトップシーンを走り続け
る若き俊英たち。完成度の高い緻密なアンサンブル
とずば抜けた演奏力は、聴くものを圧倒する。



©Kosuke Atsumi